

## 市町村研修担当者に聴く

～第15回～



平成29年3月1日号

研修センターでは、各種研修機会の提供のほか、研修情報の提供、市町村等の自主的な取り組みについて積極的な支援を行っていきたいと考えています。そこで、市町村等における実際の取り組みや研修業務に対する思いについて紹介をします。

羽島市役所 前田 恭子 さん



◎羽島市は今年度、当研修センターの研修修了者が一番多い団体でした。羽島市役所内には、研修に積極的に参加しようという空気があるのでしょうか？

確かに、ここ数年は研修の受講生が増えているように感じます。市町村研修センターの研修は負担金がないことが魅力ですし、羽島市は研修会場の「ふれあい福寿会館」に近いことも参加しやすい理由の一つです。

研修案内が届いたら、できるだけ誰かは職員を派遣したいので、その研修に関係する業務の担当職員へ直接声をかけます。受講するかは声をかけられた本人が判断し、所属長に研修を申し出るとい形です。研修によっては掲示板での募集も行います。

また、羽島市の総合計画では職員の研修参加率(研修に参加した職員の延べ人数/職員数×100)をH31年度に200パーセントにすることを目標にしています。単純に言えば、職員ひとりが1年に2回、研修を受講するという目標です。

市町村研修センターの研修では、階層別の研修の他、公文書作成講座、地方自治制度・地方公務員制度講座は採用2年目の職員に受けてもらっています。

◎羽島市が独自で行う研修はありますか？

情報セキュリティのEラーニングを一般事務職と消防職員の全員に受講してもらいました。来年度も行いたいと考えています。

また、年に1回ですが独自研修を企画しています。昨年度は人事評価制度についての研修を実施し、部長級、課長級の職員に受講してもらいました。

今年度は行政マーケティング研修を実施します。1日かけての研修を2回行い、全課長に受

講してもらう予定です。

### ◎新規採用職員の育成のために、計画的に行っている研修や人材育成の工夫はありますか？

研修という形ではないのですが、新規採用の男性職員は2年間の任期付き消防団員に任命しています。多くの消防団員は平日昼間に火災があっても出られない人が多いので昼間の消防力強化がねらいです。また、消防団活動から挨拶・規律を学ぶということもあります。ノー残業デーを利用して年間に18回の訓練があります。

女性職員は「Team ARIGATO」というシティセールスのチームでの活動に参加してもらっています。活動内容として、ふるさと納税のお礼品を企画したり、市のPR活動をしています

### ◎人事交流や派遣事業についてはどのようなものがありますか？

人事交流としては岐阜県東京事務所、岐阜県市町村課、県税事務所、土木事務所、国土交通省中部地方整備局などがあります。



### ◎自己啓発の補助はやってみえますか？

簿記や、土木施工管理技士など、資格を取得した職員には受験料の補助として、1万円を限度額としての補助があります。

### ◎羽島市独自の特徴的な研修など、お話しできることがあればお聞かせください。

人材育成担当監が主宰するフューチャーセンターの活動があります。

これは、2週間に一度、時間外の1時間半を使って自発的な勉強会を行うもので、今年で2年目となります。研修センターがおこなう「基本法務コース」のテキストを参考に法務について学んだり、行政課題をテーマに研究・発表を行ったり、庁内の担当者を講師に呼んで学ぶなど、様々な活動をしています。現在は16人のメンバーで行われています。

インタビューを終えて・・・前田さんのお話からは、羽島市の研修に対して積極的な姿勢が伺えました。また、任期付き消防団員の話や、フューチャーセンターなど、一般的な研修の形とは違いかたちでの人材育成の手法が伺えました。ぜひ参考にしたいですね。